



くまもと花まつり

CONTENTS

- ◇県農業コンクール 2・3
- ◇県花き品評会 4
- ◇阿蘇地方野菜振興大会／農業功労者 5
- ◇JA支所訪問（3） 6・7・8・9
(産山・波野・西原・河原・蘇陽・馬見原・黒川)
- ◇フォト・トピックス 10・11
- ◇総務委員会・監事會報告 12
- ◇人事異動のお知らせ 13・14
- ◇JAパンクからのお知らせ 15・16



JAきものまつり



春ランマ
春たけなわ！



家族揃ってタカネの収穫



第42回 熊本県農業コンクール

各部門で卓越した
営農手腕とアイディア

盛大に表彰式行われる

組織部門秀賞・農林水産大臣賞

吉良清一代表の「白水村おあしす米生産組合」

創意開発部門優賞・九州農政局長賞

産山村の松浦輝男さん

自立経営部門優良賞

一の宮町の犬飼秀綱・満里子さん夫妻

新人王部門優良賞

蘇陽町の山邊康弘さん

地域貢献賞

産山村の佐藤歌子さん



おあしす米生産組合のみなさん

第42回熊本県農業コンクール大会の表彰式が2月22日、ホテルニューオータニ熊本で行われました。式には受賞者をはじめJA関係者など約400人が出席。主催者を代表して潮谷義子知事、坂本榮吉JA熊本中央会長らがお祝いの言葉を述べました。その後、コンクール対象4部門の審査結果報告が行われ表彰に移りました。

J A阿蘇関係では、組織部門秀賞に「白水村おあしす米生産組合」(代表・吉良清一さん)が輝き併せて農林水産大臣賞も贈られました。創意開発部門優賞には産山村の松浦輝男さんが選ばれ、併せて九州農政局長賞が贈されました。さらに、自立経営部門優良賞に一の宮町の犬飼秀綱・満里子さん夫妻、新人王部門優良賞に蘇陽町の山邊康弘さん、また地域貢献賞には産山村の佐藤歌子さんが選ばれました。

来賓祝辞や答辭の後、各部門秀賞の事例発表が行われ、おあしす米生産組合の吉良さんらが「無農薬栽培米などの直販による永続的農業経営の展開」というタイトルで営農の方法や組織の概要などを述べました。

なお、各受賞者の営農概要やプロフィールは次の通りです。

「組織部門秀賞」

白水村おあしす米生産組合(吉良清一代表)

「消費者の口に入るまでは農家の責任」と、おあしす米生産組合を平成3年設立。現在、無農薬栽培農家20名で構成し、年間契約をしている全国各地の約600家庭に「おあしす米」約60tを宅配している。

おあしす米は「おいしい・あんぜん・しんせん・すてき」の頭文字。契約先には毎月「おあしす便り」を発送したり、季節の農産物を同梱するなど“顔の見えるお付き合い”を目指している。同時にメンバー全員がインターネットを実践し、組織内や消費者との情報交換を積極的に進めている。また、12年からは地酒「一心行」や「場外ホームランメロン」の商品開発も行い、直接販売をしている。

「おあしす米」ホームページは、

<http://www.aso.ne.jp/~oasys/>



「創意開発部門優賞」松浦輝男さん

「不用品を組み合わせ、何かに応用できないか」と、いつも考えている松浦さんが考案し開発したものが「チンゲンサイ用機械器具」である。チンゲンサイ栽培の植え付け場所に目印をつけるための形付けや、袋詰め器として作業の省力化を図ることができる。



松浦さんが最近考案したチンゲンサイ育苗施設の散水器具。カーテンレールを利用してホースが絡まらず、作業がスムーズにできるよう工夫されている。



「自立経営部門優良賞」

犬飼秀綱・満里子さん

水稻、トマト、イチゴ栽培のほか、繁殖牛13頭、育成牛などを飼育しながら、作業受託の組み合わせにより自然災害や価格低迷などのトラブルに対応できる経営を行っている。今後は家族による分業態勢をさらに進め、企業的農業経営の確立を目指している。



「新人王部門優良賞」山邊康弘さん

県立農業大学校を卒業後、同校の嘱託を経て平成8年就農。現在はタバコ、トマト、繁殖牛の複合経営。接ぎ木苗購入やコーティング肥料使用により、育苗や追肥にかかる労力を軽減。家畜の糞尿を堆肥にして循環型農業にも取り組んでいる。今後はトマトを中心とした施設野菜を積極的に進める計画。



「地域貢献賞」佐藤歌子さん

J A女性部加工部会長として、女性部の活動充実と漬物など加工販売活動に取り組む。さらに、農村景観の維持のために棚田保全に尽力し、地域の活性化と農業・農村の理解を深めることに貢献する。



平成13年度熊本県花き品評会



金賞・農林水産大臣賞に幸野亨治さん



金賞の幸野亨治さんと銅賞の真由美さん夫妻



第27回熊本県花き振興大会が2月8日、グランメッセ熊本で開かれました。主催者を代表し潮谷義子知事、JA県経済連の米ヶ田研男会長らが挨拶、引き続き平成13年度県花き品評会表彰が行われました。県花き品評会長賞金賞並びに農林水産大臣賞は、トルコギキョウ（品種名＝サマービーチ）を出品した高森町の幸野亨治さんが受賞しました。

幸野さんは中山間地という不利な立地条件で宿根カスミソウから市場性の高いトルコギキョウに転換。6～11月出荷で作型を確立し連作障害を防ぐためにメロンとの輪作、自家製堆肥の施肥、冷房ハウス利用による育苗など、新技術への意欲的な取り組みが高く評価されました。

なお、同会場では「第6回くまもと花まつり」も併せて開催され、会場中央部には花き協会各支部の花のモニュメントが飾られ訪れる人々を楽しませていました。（※阿蘇支部出展のモニュメント「阿蘇の文化」は本紙の表紙で紹介しています）

銀賞・銅賞受賞は次の方々です。（敬称略）

銀賞 後藤 義幸（白 水）桐原 秀明（白 水）
幸野 亨治（高 森）

銅賞 廣石 雅貴（阿 蘇）桐原 秀明（白 水）
桐原 忠継（白 水）幸野真由美（高 森）
鳴川 孝宏（一の宮）河添 均（久木野）
大塚 良親（南小国）竹中 瑞穂（白 水）
小代 正雄（南小国）井野 寿一（一の宮）
足立 秀美（高 森）興梠 修一（蘇 陽）
江藤 節子（蘇 陽）

花き園芸功労者に 高森町の佐藤直三さん

平成13年度熊本県花き園芸功労者に高森町の佐藤直三さんが選ばれ、花き振興大会会場で表彰されました。

佐藤さんは昭和56年、高冷地の露地野菜产地であった高森町野尻地区に初めて花き（スターチス）を導入。以後、野尻農協、阿蘇南農協の花き部会長として、花き栽培の推進、生産技術の向上、販路拡大に取り組み、花を地域の特産品として確立し、南阿蘇地域の花き振興に大きく貢献しました。

ちなみに花き取扱額4,000万円（野尻地区中心）が、平成12年度には2億5,000万円にも伸び、現在、県内外の花市場から夏秋期の産地として高い評価を得ています。



佐藤直三さん

「阿蘇の自然環境と魅力を
活かした野菜生産に努めよう」
平成13年度阿蘇地方野菜振興大会



「生産者の力を結集し、阿蘇の安全・安心を消費者に届けよう」などの大会スローガンを掲げた平成13年度「阿蘇地方野菜振興大会」が2月8日、生産者やJA関係者ら約300人が参加して阿蘇いこいの村（阿蘇町）で開かれました。

大会ではJA阿蘇の丸山信義組合長をはじめ県野菜振興協会阿蘇支部長の今村博信高森町長ら挨拶し、野菜園芸功労者8人の方々を表彰しました。また、全農越谷青果の須田政宏常務が「日本経済の方向と青果物の販売戦略」と題して記念講演を行いました。

野菜園芸功労者8人の方々（敬称略）

後藤 光春（一の宮）井野 則男（阿蘇）
松野 幹男（阿蘇）宅野 勝尚（南小国）
小陣 碩良（小国）倉岡 猛義（蘇陽）
山室 岩男（高森）荒牧 秀敏（白水）

今年度熊本県農業功労者に
阿蘇町の井野則男さん

農業に20年以上精励し、10年以上農業団体などの指導的地位にあった人など、県の農業発展に貢献した人を表彰する平成13年度熊本県農業功労者の表彰式が1月16日、熊本県庁で行われました。潮谷義子知事が祝辞を述べた後、阿蘇町の井野則男さんをはじめ功労者21人に表彰状と記念品を贈りました。



アスパラガスの集出荷、盛ん！
中部営農センター管内

中部営農センター管内では、アスパラガスの集出荷作業が盛んに行われています。一の宮町のJA阿蘇本所近くの集出荷場では、最盛期には1日あたり1万束（1束=100g）が出荷されます。出荷先は大阪方面が6割、地元熊本へが4割となっています。売れ筋はL～2Lサイズで、3月上旬から11月上旬のシーズン中に、販売高（目標）として1億円が見込まれています。



アスパラガスの集出荷作業

J A支所訪問（第3回）

J A阿蘇の各支所や施設を紹介する「J A支所訪問」。今回は「産山、波野、西原・河原、黒川、蘇陽・馬見原」（順不同）の5中央支所と2支所です。

産山中央支所

産山村山鹿468-2 ☎0967-25-2311



■高冷地に適応した野菜、椎茸、花卉栽培

「産山中央支所」がある産山村は阿蘇郡の東北部に位置し、東部は大分県、西は南小国町、一の宮町、南は波野村に接しています。九重連山に連なる標高550～980mの地形には草原や森林が広がり、原生林の渓谷には全国的に有名な池山水源や山吹水源があり、清冽な水を湧き出しています。この山吹水源の近くには全国棚田百選に選ばれた扇田があります。

基幹となる農作物は、以前は稲作を中心とした営農でしたが、今日では稲作に加え広大な草地を活用した畜産や、高冷地に適応した野菜（チンゲンサイ、ホウレンソウ）、椎茸、花卉（スターチス、トルコギキョウ）栽培などが盛んに行われています。

産山中央支所は、村役場のすぐ近くにあります。組合員は准組合員含む約400人です。支所の職員は宮川潔支所長以下スタッフ8人で、営農部門には中部営農センターから3人が駐在しています。また支所近くにあるJ A阿蘇

「特産品加工場」では、特産の高原高菜を用いた「たかな漬」をはじめ干しダイコンやフキの加工食品を生産し、J Aの直販店などに出荷しています。



特産品加工場のみなさん

波野中央支所

波野村波野2709-5 ☎0967-24-2301



■ハウスリースで花卉、小物野菜の促進を

阿蘇郡の東北部に位置する波野村は、阿蘇外輪山を起点に西から東へと波状の傾斜地形が連なる標高700～900mの高冷地帯にあります。全国的には「神楽の里」として知られています。

「波野中央支所」は波野村役場に隣接、組合員は約350人（准組合員含む）で、職員は首藤太支所長以下9人（臨時職含む）のスタッフです。

農業の形態としては高冷地という自然条件を活

かし、キャベツや馬鈴薯などの露地栽培と畜産を組み合わせた営農が行われています。キャベツは加工用が約750t、青果としてが約2,400t出荷（年間）されています。一方、馬鈴薯（出島、西ユタカ）は種馬鈴薯が約400t、青果が約200tとなっています。畜産においては肉用牛が主ですが、BSE問題がまだ尾を引き価格が低迷をしています。

今日の課題として首藤支所長は「所得の向上、価格安定、“波野ブランド”的確立が必要だ。ハウスリース事業での花卉（キク＝7～11月）、小物野菜（ホウレンソウ＝3～12月、アスパラ＝3～9月）の促進をはかり、産地表示が行われるため一層の減肥減農薬にも努めたい」と語っていました。



西原中央支所

西原村小森2913-1 ☎096-279-3222

河原支所

西原村河原817-1 ☎096-279-2502

■基幹作物は甘藷、年々都市近郊型農村に



「西原中央支所」は村の中心部、県道28号沿いにあります。西原村は熊本市へも近いことから、昨今はベッドタウンとして新興住宅が多くなっています。そのような事情もあり、営農の形態は“多

種多様”で、年々都市近郊型の農業パターンに変わっています。そのため専業農家は約10%で、残り90%が兼業農家という割合です。現在、西原中央支所管内の組合員は約620人、職員は坂梨公介支所長以下スタッフは32人（河原支所も含む）です。西原の基幹作物は、何と言っても「ほりだし君」ブランドで有名な甘藷です。村内には150基の甘藷貯蔵庫があり、年間を通して出荷が可能です。甘藷は年間約2,000tが出荷されています。またサトイモも年間約500tが出荷されています。

畜産は約70戸が行っており、酪農が15戸、残りが繁殖牛及び肥育牛農家となっています。さらにもメロン、イチゴの高設栽培なども行われています。施設野菜としてサラダホウレンソウ、野菜苗が生産され、クリは厳しい産地間競争下におかれています。

坂梨支所長は「第1種兼業農家が多く、一般の村民を含めJAをどう多角的に利用してもらうかが課題の1つ」と話していました。

一方、「河原支所」は村の西南地区に位置し、加藤政弘支所長を含め3人が駐在しています。



河原支所

サトイモの選果作業



甘藷の集荷作業

蘇陽中央支所

蘇陽町今500 ☎0967-83-1135

馬見原支所

蘇陽町馬見原67-1 ☎0967-83-0033



蘇陽中央支所



蘇陽町総合行政センター



ブルーベリーの
ジュースとジャム



馬見原支所

■今や町を代表する特産品「ブルーベリー」

“九州のヘソ”と言われている蘇陽町は、阿蘇南外輪から南方に広がる標高500～800mの高冷地です。「蘇陽中央支所」は平成11年1月オープンした蘇陽町総合行政センターの中にあります。蘇陽町指定金融機関としての役割も担っています。組合員は872人、准組合員は128人（平成13年3月末）です。中央支所は橋野省二支所長以下33人のスタッフが、支所、営農センター、給油所（2カ所）、暮らしのセンター、Aコープ、車輛センター等を受け持っています。

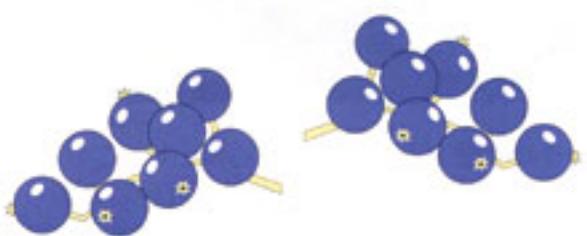
基幹作物としては稻作、ブルーベリー、畜産、クリ、椎茸、ダイコン等がありますが、その中でもここ20年来急激に生産が伸びてきた作物がブルーベリーです。今や町を代表する特産品の1つとなっています。ブルーベリーは7～9月が収穫時期で年間30tが生産され、その90%がジャム、ジュース、ワインなどの加工用として出荷されています。ジャムは町内の生産者グループにより手造りジャムとして製造されています。

花卉栽培ではグラジオラスが7～9月に切り花として出荷され、高冷地で育ったので色持ちが良いとの市場評価を受けています。

また、IT化の推進にも積極的に取り組み、コンピューターの研修会等の講師にJA職員が当たっています。

「馬見原支所」は町南端に位置する馬見原地区にあり正組合員249人、准組合員55人（平成13年3月末）で、長谷野哲支所長以下4人のスタッフが馬見原地区をカバーしています。

橋野支所長も、長谷野支所長も「課題は農業従事者の高齢化と後継者不足」と語っていました。



黒川中央支所

阿蘇町黒川87 ☎0967-34-0121



■トマト、キュウリ等の施設栽培が盛ん

黒川中央支所はJA阿蘇管内のほぼ中央部に位置する阿蘇町黒川、JR阿蘇駅のすぐ近くにあります。中央支所の前を国道57号が東西にJR豊肥本線と並行して走っており、一帯は観光阿蘇の要衝の地であり、観光ルートの拠点となっている所です。

黒川中央支所は昨年4月の合併までJA黒川本所として地域とともに歩んできました。現在、組合員数は正が約530人、准が約140人、スタッフは坂田康雄支所長以下15人です。関連の施設としては本所に隣接しJA-S.S.(ガソリンスタンド)が併設されています。

営農の形態としては稻作と畜産が中心となって行われてきましたが、昭和57~58年頃からトマト、キュウリ、メロンなどの施設栽培が盛んになってきました。その半面、昨今では畜産(繁殖牛)が厳しい状況下にあります。

坂田康雄支所長は「減反後の新規作物導入については、営農センターとも情報交換や協力をしながら進めたい。個々の農家の所得向上につながるためにどのような作物を導入するかは大きな課題だ。昨年4月の合併により、黒川中央支所の職員数が半減されたが、組合員の皆さんへはサービス低下が起きないように全職員が全力を尽くして頑張っている。また、高齢者対策等で幹線道路沿いに直販店の開設などが望まれる」と語っていました。



黒川中央支所外観(上)と内部(下)

訂正とお詫び

前号(JAあそだより3号)の13ページで「毎回、楽しみながら料理教室」というタイトルで、女性グループの紹介をしましたが、記事に説明不足の点がありましたので、訂正とお詫びをいたします。

グループの正式名称は、阿蘇郡農業女性ネットワーク「ドリーム」で、昨年7月に発足しました。活動としては料理教室だけではなく、身の周りにあるいろいろなことをテーマにして、活動していくという趣旨で集まった女性グループだそうです。

詳しいことは、☎0967-32-0104の大和とよ子さんまでお問い合わせください。





フォト・トピックス

農協植木まつり 販売額、前年より増える

J A熊本経済連やJ A阿蘇など県下12JAが主催する「第27回農協植木まつり」が、1月19日から2月18日まで県農業公園カントリーパーク（菊池郡合志町）で開かれました。会場内の550区画の売場には庭木から観葉植物、鉢物まで約120万点が出品されました。また、各JAの特産品や農具・園芸資材なども展示販売され、期間中約30万人の人出と前年より10%増の約4億5,400万の販売額となりました。



熊本市の繁華街でキャンペーン
県産牛肉の安全性をアピール



来場者を魅了 「JAきものまつり」



J A阿蘇並びにJ A阿蘇女性部など主催「JAきものまつり」が、2月2・3日、阿蘇町のホテル角萬大広間で開かれました。開催に先立ち主催者ら約100人が出席し、テープカットが行われました。会場にはあでやかな訪問着、振袖、豪華で落ち着いた留袖をはじめ、宮参りや七五三の晴着セットなど展示され、会場を訪れる人々を魅了していました。なお、当日は約870人の来場者があり、1,622万円の売り上げがありました。



BSEに関する正しい知識と県産肉牛の安全性を消費者に理解してもらい、低迷が続く牛肉の消費を回復させようと、熊本県JAグループBSE対策本部、生産者、流通関係者などによるキャンペーンやイベント、あか牛の試食会などが1月から3月までの土曜日、県下主要商店街などで行われました。2月9日の「肉の日」には、熊本市の中心街で関係者ら約300人によるパレードも行われました。



フォト・トピックス



フォト・トピックス

小国郷ジャージヨーグルト工場竣工 日産1.5tの生産ラインを備える

昨年7月から工事が進められていた「JA阿蘇小国郷ジャージヨーグルト工場」が、小国町の物産館びらみっと近くに2月末完成しました。工場の敷地は1,500m²、建物は350m²、工費は2億1,000万円で、最大で日産1.5tの生産ラインを備えています。

この工場は乳製品の付加価値を高め、消費者ニーズの多様化に対応し、いっそうの消費拡大をはかるために造られたもので、本格的な稼働は5月からの予定です。



製茶工場の設備を一新 小 国 郷

最新式の製茶機械・設備と入れ替えるため、昨年10月から小国郷の製茶工場の工事が進められていましたが、3月に工事が完了しました。新しい設備は1日（16時稼働の場合）7tの処理能力を備え、緑茶の生産拡大が期待されています。本格的な稼働は5月の連休明けからの予定です。



J A阿蘇白水地区ライスセンターが、白水村に完成しました。ライスセンターは阿蘇南地区では初めてとなる施設です。
(詳細は本紙次号で紹介予定)

白水地区ライスセンター完成



フォト・トピックス

総務委員会・監事会報告

平成14年1月から3月まで、総務委員会ならびに監事会が下記の通り開催されましたので、そのご報告をいたします。

■第9回総務委員会

日時／平成14年1月7日午前10時00分

場所／阿蘇町東部支所二階会議室

1. 開会
2. 組合長挨拶
3. 協議事項

- (1) 支所運営委員の選任（一の宮中央支所）について
- (2) 規程の一部改正について
- (3) 本所機能の一部変更について
①債権対策室／②共済南部業務センター
- (4) 養牛用飼料価格対策要領（案）2期について
- (5) クミアイ家庭菜配置事業の取組について
- (6) 農薬空容器回収方法について
- (7) 購買関係奨励措置（案）について
- (8) L.Pガス集中監視システム導入（案）について
- (9) 職員募集について
- (10) 貸出金について
- (11) 11月末実績報告
- (12) その他

■第10回総務委員会

日時／平成14年1月29日午後2時00分

場所／阿蘇町中央支所二階会議室

1. 開会
2. 組合長挨拶
3. 協議事項

- (1) 平成13年度上半期監事監査指摘事項に対する回答について
- (2) 南小国支所管内河川改修に係る土地・建物の売却について
- (3) 資産査定要領（案）の変更及び資産査定要領（案）について
- (4) 平成13年度導入家畜等棚卸監査実施要領について
- (5) 生産資材代金決済取扱要領改定（案）について
- (6) リース規程・契約書について
- (7) 貸出金について
- (8) 12月末実績報告
- (9) その他

■第11回総務委員会

日時／平成14年3月14日午後1時30分

場所／阿蘇町東部支所二階会議室

1. 開会
2. 組合長挨拶
3. 協議事項

- (1) 信用事業方法書の一部改正について
- (2) 資産査定状況報告について
- (3) 貸出金について
- (4) 2月末実績報告
- (5) その他

■第12回総務委員会

日時／平成14年3月28日午後1時30分

場所／阿蘇町東部支所二階会議室

1. 開会
2. 組合長挨拶
3. 協議事項

- (1) 貸出金について
- (2) 家畜棚卸監査報告について
- (3) 資産査定（仮基準日）監査報告について
- (4) 定款の変更について
- (5) ベイオフ解禁に伴うJAバンクの対応について
- (6) 共済事業活動について
- (7) 営農借越極度額基準について
- (8) BSE関連養牛用飼料価格対策（案）について
- (9) 阿蘇地区特別栽培米施肥防除統一基準について
- (10) その他

■第6回監事会

日時／平成14年1月29日午前10時

場所／本所二階会議室

1. 開会
2. 代表監事挨拶
3. 議題

- (1) 平成13年度上半期仮決算監査の反省等について
- (2) 平成13年度導入家畜等棚卸監査実施要領（案）について
- (3) 平成13年度導入家畜等の棚卸監査実施について
- (4) 平成13年度資産査定監査実施要領（案）について
- (5) 平成13年度資産査定監査実施について
- (6) 今後の日程について
- (7) その他

4. 閉会

■第7回監事会

日時／平成14年3月25日午後1時30分

場所／本所二階会議室

1. 開会
2. 代表監事挨拶
3. 議題

- (1) 平成13年度導入家畜等棚卸監査報告について
- (2) 平成13年12月末資産査定監査報告について
- (3) 平成13年度決算棚卸監査実施について
- (4) 監事監査規程等の一部改正について
- (5) 今後の日程等について
- (6) その他

4. 閉会

辞令名簿

氏名	旧職名	発令年月日	辞令の内容
本田 雅康	高森中央支所金融共済課野尻駐在課外担当	平成13年12月26日	高森中央支所金融共済課貯金担当
大塚 嘉久	営農部営農企画課長	平成13年12月26日	小国郷営農センター長
橋野省二	共済部業務課阿蘇南部業務S C担当	平成13年12月26日	蘇陽中央支所長
工藤 可純	南部営農センター事業課精算担当	平成13年12月26日	馬見原支所金融共済課貯金担当
下田 善紀	草部支所長	平成13年12月28日	野尻支所支所長代理
曾我勝徳	南部営農センター長	平成13年12月28日	営農部営農企画課長
北里 丈夫	営農部福祉課長	平成13年12月28日	営農部福祉課長兼直販課長
今村 弘文	南部営農センター農産課長	平成13年12月28日	南部営農センター長
津留 尚三	高森中央支所購買課長	平成13年12月28日	南部営農センター農産課長
堀田 昌計	野尻支所支所長代理	平成13年12月28日	高森中央支所購買課長
工藤 西男	営農部直販課長	平成13年12月28日	草部支所長
北里 卓也	小国郷中央支所購買課勤務(南小国事業所統括)	平成13年12月28日	小国郷中央支所購買担当
長谷部 宏明	小国郷中央支所購買課小国給油所勤務	平成13年12月28日	南小国支所Aマート担当
長谷部 一成	小国郷中央支所購買課Aマート勤務	平成13年12月28日	小国郷営農センター物産館担当
佐藤 文則	小国郷中央支所購買課資材店舗担当	平成13年12月28日	南小国支所Aマート店長
坂田 順哉	購買部事務処理課勤務	平成13年12月28日	小国郷中央支所小国給油所担当
後藤 美香	長陽中央支所購買課購買担当	平成13年12月28日	蘇陽中央支所金融共済課金融担当
武田 雄介	小国郷営農センター園芸課指導担当	平成13年12月28日	営農部営農企画担当
有働 秀一	南部農機車輛センター農機担当	平成13年12月28日	蘇陽農機車輛センター農機担当
下田 一馬	蘇陽農機車輛センター農機担当	平成13年12月28日	南部農機車輛センター農機担当
中川慎一	白水中央支所購買課白水給油所担当	平成13年12月28日	南部営農センター園芸課指導販売担当
工藤 真紀	産休	平成13年12月28日	蘇陽中央支所購買課購買担当
小林勝人	南部営農センター園芸課指導販売担当	平成13年12月28日	白水中央支所購買課白水給油所担当
佐藤 富朗	営農部勤務	平成13年12月28日	営農部福祉課福祉兼直販担当
野田 昭子	購買部事務処理課勤務	平成13年12月28日	南部営農センター事業課精算担当
野田 義照	共済部業務課阿蘇南部業務S C担当	平成14年1月7日	共済部業務課勤務
加藤 清孝	共済部業務課阿蘇南部業務S C担当	平成14年1月7日	共済部業務課勤務
都信一	共済部業務課阿蘇南部業務S C担当	平成14年1月7日	共済部業務課勤務
佐藤 今朝富	債権対策室債権対策課長	平成14年1月7日	金融部債権対策課長
岩下勇二	債権対策室債権対策課勤務	平成14年1月7日	金融部債権対策課勤務
藤田 イク子	阿蘇町東部支所共済係	平成14年1月7日	購買部事務処理課担当
伊藤 あづさ	阿蘇町中央支所購買課やまびこ勤務	平成14年1月7日	阿蘇町東部支所共済担当
堀克史		平成14年1月4日	一の宮車輛センター勤務
古澤 英治	中部営農センター農産課一の宮駐在	平成14年3月1日	南部農機車輛センター農機担当
佐々木聰	南部農機車輛センター農機担当	平成14年3月1日	西原農機車輛センター農機担当
渡辺礼也	一の宮中央支所一の宮給油所勤務	平成14年3月14日	中部営農センター農産課一の宮駐在
岩下勇二	金融部債権対策課勤務	平成14年3月14日	中部営農センター事業課勤務
齊藤 真一	中部営農センター事業課勤務	平成14年3月14日	一の宮中央支所一の宮給油所勤務
佐藤 昭三	共済部普及課LA担当	平成14年4月1日	南部農機車輛センター農機係
工藤 昌道	蘇陽農機車輛センター長	平成14年4月1日	蘇陽農機車輛センター農機係
大津 明代	購買部事務処理課勤務	平成14年4月1日	金融部貯金融資課金融係
川元博美	南部営農センター園芸課指導販売担当	平成14年4月1日	南部営農センター園芸課指導販売係兼外商係
工藤智広	南部営農センター事業課事業担当	平成14年4月1日	南部営農センター農産課農産係(白水駐在)兼ライスセンター係
阿南誠二	高森中央支所購買課高森給油所担当	平成14年4月1日	南部営農センター園芸課園芸係(蘇陽駐在)

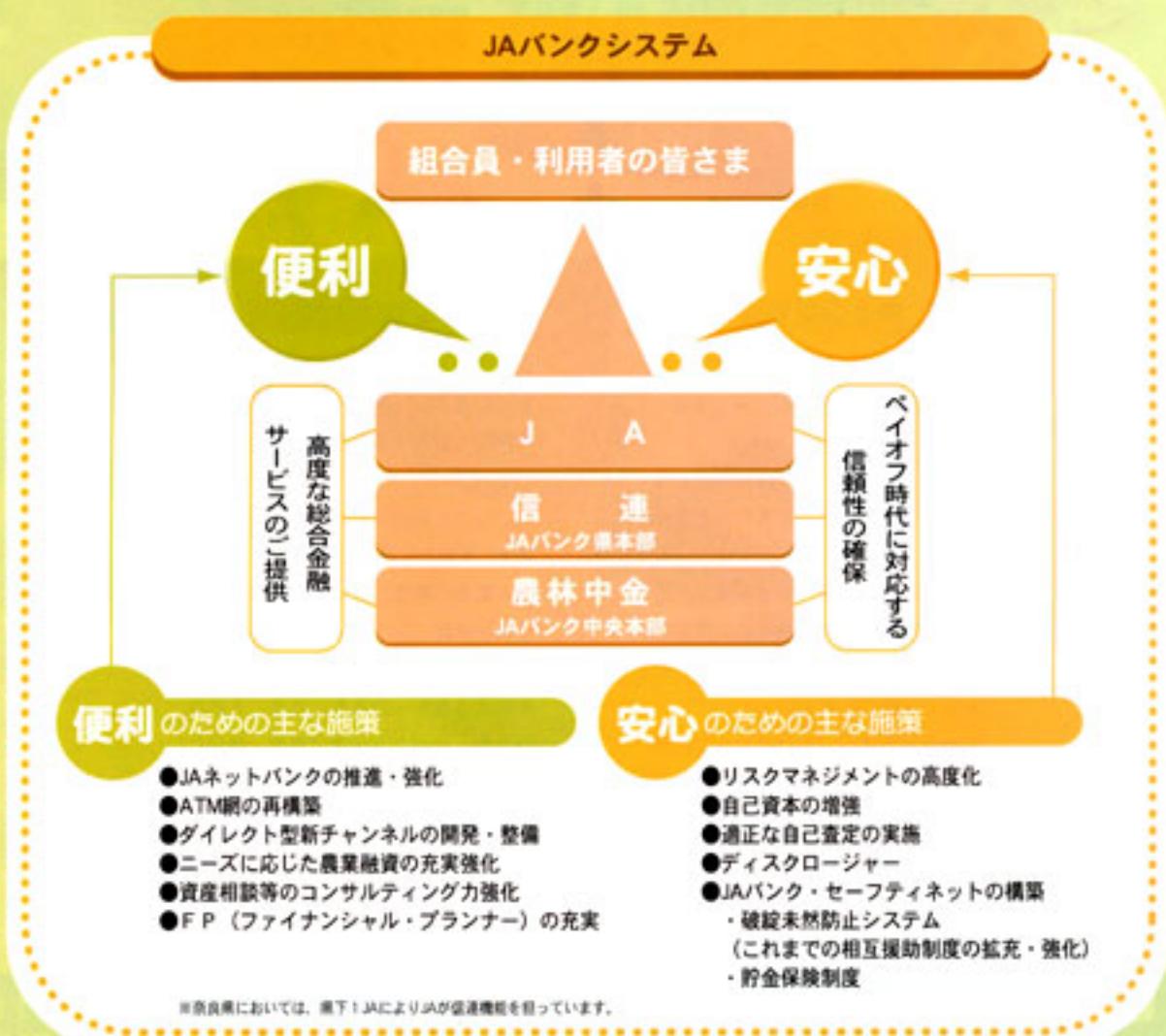
氏名	旧職名	発令年月日	辞令の内容
長崎きよみ	白水中央支所総務課総務兼女性の会担当	平成14年4月1日	白水中央支所購買課購買係兼女性の会係
堤千鶴子	高森中央支所購買課購買担当	平成14年4月1日	高森中央支所購買課高森給油所ガス係(検針)
岩下公昭	白水中央支所金融共済課共済担当	平成14年4月1日	白水中央支所金融共済課LA係
安達健太	久木野中央支所購買課購買担当	平成14年4月1日	白水中央支所金融共済課金融共済係
下田善紀	野尻支所支所長代理	平成14年4月1日	野尻支所支所長代理兼涉外係
津留靖代	共済部普及課LA担当	平成14年4月1日	高森中央支所金融共済課総合涉外係
岩本徳光	南部農機車輛センター車輛担当	平成14年4月1日	南部農機車輛センター審査役
栗焼三千生	高森中央支所購買課購買担当	平成14年4月1日	高森中央支所金融共済課LA係
長岡秀則	南部農機車輛センター車輛課長	平成14年4月1日	南部農機車輛センター長
本川一徳	南部農機車輛センター長	平成14年4月1日	蘇陽農機車輛センター長
玉田壽子	共済部保全課勤務係	平成14年4月1日	馬見原支所金融係
町みどり	馬見原支所購買課購買担当	平成14年4月1日	馬見原支所金融係
工藤直幸	蘇陽中央支所購買課購買担当係	平成14年4月1日	馬見原支所購買係
工藤可純	馬見原支所金融共済課貯金担当	平成14年4月1日	蘇陽中央支所金融共済課金融係
甲斐義昭	蘇陽中央支所金融共済課金融共済担当	平成14年4月1日	蘇陽中央支所金融共済課共済係
片倉綱代	馬見原支所金融共済課出納担当	平成14年4月1日	蘇陽中央支所金融共済課LA係
古澤英治	南部農機車輛センター農機担当	平成14年4月1日	南部農機車輛センター車輛係(審査役)
小林弘成	一の宮車輛センター勤務	平成14年4月1日	一の宮中央支所一の宮給油所係
甲斐千春	総務部経理電算課勤務	平成14年4月1日	一の宮中央支所金融共済課金融共済係
西村晴男	一の宮中央支所購買課勤務	平成14年4月1日	坂梨支所長代理兼坂梨給油所長
陣野敬昌	一の宮中央支所坂梨給油所勤務	平成14年4月1日	総務部総務人事課総務人事係
村上ひろみ	一の宮中央支所購買課勤務	平成14年4月1日	一の宮中央支所金融共済課LA係
楠喜美男	阿蘇町中央支所購買課やまびこ勤務	平成14年4月1日	共済部業務課業務係
田上修二	阿蘇町中央支所購買課やまびこ勤務	平成14年4月1日	阿蘇町中央支所金融共済課LA係
村上敬	阿蘇町小央支所購買課やまびこ勤務	平成14年4月1日	永水支所共済係
松村浩市	永水支所共済係	平成14年4月1日	阿蘇町中央支所金融共済課LA係(永水・尾ヶ石)
山口淳也	阿蘇町中央支所購買課給油所勤務	平成14年4月1日	阿蘇町中央支所購買課販賣係(グリーンショップやまびこ)
池田博文	阿蘇町中央支所購買課やまびこ勤務	平成14年4月1日	阿蘇町中央支所購買課給油所係
市原尚子	阿蘇町中央支所購買課やまびこ勤務	平成14年4月1日	購買部事務処理課事務処理係
坂梨英俊	中部営農センター山田・第一支所駐在	平成14年4月1日	阿蘇町東部支所金融共済LA係
筑紫米子	中部営農センター産山駐在兼加工場事務係	平成14年4月1日	産山中央支所金融共済課LA係(複合)兼花き指導係
工藤一男	波野中央支所購買課長	平成14年4月1日	波野中央支所金融共済課LA係(複合)未収金回収係
吉田茂成	黒川中央支所購買課黒川給油所長	平成14年4月1日	黒川中央支所金融共済課LA係
西岡徳和	黒川中央支所購買課給油所勤務	平成14年4月1日	黒川中央支所購買課黒川給油所長
梅木公一郎	小国郷中央支所購買課小国給油所勤務	平成14年4月1日	小国郷中央支所購買課南小国給油所係(主任)
杉野裕一郎	共済部業務課勤務	平成14年4月1日	小国郷中央支所金融共済課小国支所係
渡辺昭一	小国郷中央支所購買課農機センター勤務	平成14年4月1日	小国郷中央支所購買課農機センター長兼南小国支所統括
橋本憲一郎	小国郷中央支所購買課農機センター勤務	平成14年4月1日	小国郷中央支所購買課小国給油所係
北里雄	小国郷中央支所購買課南小国給油所勤務	平成14年4月1日	小国郷営農センター事業課牛乳処理センター牛乳処理係
時松誠也	小国郷中央支所金融共済課勤務	平成14年4月1日	小国郷中央支所金融共済課貸付係兼債権対策係
出口創平	小国郷営農センター事業課牛乳処理センター勤務	平成14年4月1日	小国郷営農センター事業課ヨーグルト工場長
飯沼由彦	小国郷営農センター農産課加工利用担当	平成14年4月1日	小国郷営農センター農産課農産係
後藤暢宏	小国郷営農センター農産課米穀担当	平成14年4月1日	小国郷営農センター園芸課販売係
宇都宮久人	小国郷中央支所金融共済課小国支所勤務	平成14年4月1日	総務部経理電算課経理電算係
梅木裕天		平成14年4月1日	国郷営農センター事業課外商係

2002年より「JAバンクシステム」を導入しました。



万全の体制で組合員・利用者の皆さんに、 より一層の「便利」と「安心」をお届けします。

JAバンクは、JA・信連・農林中金による実質的にひとつの金融機関です。組合員・利用者の皆さんに「便利で、安心な」金融機関としてご利用いただけるよう、密接な連携をとっています。ペイオフ、不良債権処理、IT活用による金融サービスの多様化などの環境変化に対応し、喜ばれるサービスをご提供します。



安心

だから、「JAバンク」が選ばれます。

JAバンクには、 「JAバンク・セーフティーネット」があります。

より安全な金融機関としての信頼を得るために、JAバンクは、「JAバンク・セーフティーネット」を構築しています。まず、公的制度である「貯金保険制度」。そして、「JAバンクシステム」のもとJAバンク全体で経営健全性を確保する取組みである「破綻未然防止システム」。この仕組みによって、組合員・利用者の皆様により一層の「安心」をお届けします。



JAバンク・セーフティーネットの仕組み

貯金保険制度

- 貯金者を保護するための国のかかる制度



充実

破綻未然防止システム

- 相互援助制度を一層拡充・強化
- JAバンク全体で経営状況をチェック、健全性向上への取組み

貯金保険制度

相互援助制度

貯金保険制度

「貯金保険制度」は、貯金者保護のための国の公的な制度であり、JA・信連・農林中金などが加入しています。この制度は政府・日銀・農林中金・信連などの出資により設立された貯金保険機関によって運営されており、JAなどから収納された保険料を原資に、万一JAが経営破綻して貯金の払い戻しができなくなった場合などに貯金を一定の範囲で保護します。「貯金保険制度」における貯金者保護のための仕組みは、「預金保険制度」（銀行・信金・信組労金などが加入）と基本的に同じです。

破綻未然防止システム

全国のJAバンクが協力して個々のJA経営を支援する、JAバンク独自の自動的な制度である「相互援助制度」を一層パワーアップ。JAバンクの提出による「JAバンク支援基金」を新たに設置しました。万一緊急の事態に陥ったJAへの貸付や経営が困難となったJAへの資金援助などの仕組みはこれまでどおり。そのような万一の事態に至ることのないよう、JAバンク全体で早期・適切に経営健全性の向上に取り組む仕組みと、その取組みに必要な支援（資本注入など）を行う仕組みが加わりました。

発行

阿蘇農業協同組合総務部総務人事課

〒869-2612 熊本県阿蘇郡一の宮町宮地387-5

TEL 0967・22・6111

FAX 0967・23・1088